

# ミニ運動会



去る十一月九日にミニ運動会を開催しました。コロナウイルス感染防止のためできるだけ密を避けて演技を行いました。保護者の方々にも検温等ご協力いただきありがとうございました。

## 徒競走へ1・2年

力いっぱいはしったよ

一年 ○○○○○

ときようそうで、スタートからぜんりよくを出して、すぐくはやくはりました。さいごまであきらめずに、力いっぱいはりました。もくひようが二いだったので、本ばんも二いになって、うれしかったです。

一ねん生で二いをとれたので、二ねん生では一いになりたいです。

ちよびんぎょくきようきよう走

二年 ○○○○○

うんどう会で一ばんどきどきしたのは、ときようそうです。りゆうは、足がはやい子がいたからです。れんしゆうではまけることがあったので、本ばんでは、かってやるという気もちで走りました。スタートからいっきにゴールまで走り、一いをとることができました。これからもどんだん足をはやくしていきたいです。



▲低学年徒競走

## 常南リレーへ3〜6年

おうえんのおかげで

三年 ○○○○○

リレーでは一生けん命走りました。みんながおうえんしてくれたので、いつもよりやる気が出てきてがんばって走れました。一位にはなることはできなかつたけど、次は一位になれるようにがんばりたいです。

楽しかったミニ運動会

四年 ○○○○○

ミニ運動会で一番心に残ったのは、常南リレーです。バトンがわたされるとき、すぐきんちようしました。バトンをうけとって、がんばって走りました。走り終えたら、座ってチームのおうえんをしました。一位にはなれなかつたけど、走るのもおうえんもがんばれてよかつたです。

## 玉入れへ全校

一位になれた玉入れ

五年 ○○○○○

私が一番楽しかったのは、玉入れです。わたしたち、なんチームは、練習では最下位でしたが、本番では低学年の子たちが、十九個、私たちが三十一個で、どちらも一位になることができました。私は、すぐうれしかったです。

運動会は運動会だ

六年 ○○○○○

今年はミニ運動会です。ですが、それでも運動会は運動会なんだという気持ちで思いっきりがんばりました。玉入れは、練習では一位になれなかつたけど、本番では一位をとることができました。わたしも五個くらいいれることができたので、うれしかったです。



▲玉入れを頑張る「キ」チーム

## 帽子取りへ全校

赤組大将

六年 ○○○○○

ものすごくきんちようしてのぞんだ運動会でした。大将として、かけ声のとき、大きく息を吸って声を出しました。赤組は勝利することができて、うれしかったです。



▲赤組率いる○○○君

白組大将

六年 ○○○○○

ぼくは白組の大将です。きんちようしすぎて、吐き気がすごくて大変でした。かけ声では練習よりも大きい声が出せてよかつたです。きんちように打ち勝ち、精一杯がんばりました。



# 自然薯掘りへ5・6年

去る十一月五日に自然薯掘りを行いました。学区の〇〇〇〇さんと〇〇〇〇さんのご指導で今年も自然薯を収穫することができました。

## 掘るのは快感

六年 〇〇〇

今年は何れくらいの大きさなのか、どれぐらいたくさんとれるのかを楽しみにしていました。パイプをあけると長い自然薯が見えました。それからも次々と自然薯が出てきました。全部合わせて六十本以上の自然薯がとれました。今年の自然薯はどんな味なのか、今から楽しみです。



▲パイプを掘り出す6年生



▲パイプから出された自然薯



## 最後の思い

六年 〇〇〇〇

今年の夏はとても暑かったため、きちんと育っているか不安でした。パイプを開くと大きな自然薯がたくさん出てきました。立派にできてよかったです。今年がわたしたちにとって最後の自然薯掘りになります。これからも続いてほしいです。

## 大きな達成感

五年 〇〇〇〇〇〇

最初に野村さんから自然薯掘りの仕方をいねいに教えてもらいました。開会式が終わって、さっそく作業に取りかかりました。土の中からパイプが見えてきたときは、とてもうれしかったです。

# とろろご飯の会へ全校

今年も全校でとろろご飯を食べることができました。コロナウィルス感染拡大防止の観点から、体育館に全校が集まって食べることはせず、各教室で食べました。

## 大好きなとろろご飯の会

四年 〇〇〇〇〇〇

わたしは、とろろご飯の会を楽しみにしていました。お昼の時間になると、教室でとろろご飯が配られました。口に入れると、とろとろですごくおいしかったです。来年は五年生になるので、じねんじよほりをがんばって、おいしいとろろご飯を作りたいです。今から楽しみです。



▲とろろをご飯に掛けてもらう1年生

## みんなのためのご飯

五年 〇〇〇〇〇〇

とろろご飯の会では、私たち五年生が全校のみんなのご飯を炊きました。朝早くから、家庭科室で米を洗い準備をしました。来年は、私たちがとろろを作り、新五年生にご飯を炊きます。みんな協力しておいしいとろろご飯を作ってあげたいです。

## 苦勞の末に

六年 〇〇〇〇〇〇

とろろご飯を作るときに一番心に残ったことは自然薯を洗うことです。水で土を落とすために洗うのですが、だんだん手がかゆくなってきました。かゆくなることは知っていましたが、実際に体験すると大変でした。ですが、完成したとろろご飯はおいしくてがんばってよかったと思いました。



▲とろろを作る6年生

この人 地域講師 野村ちはるさん

田口町の〇〇〇〇さんは本校の読み聞かせボランティアとして四年間お世話になっていきます。今年度は読み聞かせボランティアの代表も務められています。本の読み方も上手で、子どもたちも本の世界に自然に引き込まれています。

また、田植え・稲刈り・自然薯など五・六年生の総合学習の指導者として大活躍されています。

読み聞かせボランティア

〇〇〇〇

「おはようございます！お願いします！」  
「子供たちの元気な挨拶に迎えられ、今日も読み聞かせが始まります。」  
「さあ、今日はこの三冊を用意してきましたよ。どれがよいか手を挙げてね」  
このやり取りがすっかり恒例になりました。

私が読み聞かせボランティアを始め、今年で四年になります。初めはとてこんなコミュニケーションをとる余裕など無く、どんな本なら飽きずに聞いてくれるだろうか？とか、早口になり過ぎて内容が伝わらなかつたなと悩んでばかりでした。でも回数を重



ねていくうちに、子供たちの面白ければクスクス笑う、次のページで何が出てくるか少しじらして予想させれば、「〇〇じゃない？」△△だよ！と話してくれる素直な反応があることを知りました。今ではこの与えられた二十分間を思いっきり楽しい時間にしてしまおうと開き直って、本を選ぶのも読み聞かせ自体も、とてもワクワクする時間になりました。

読み聞かせの担当回は多くても月に二回なのでそれほど頻繁ではありませんが、キラキラと目を輝かせて絵本と向き合う子供たちとの特別な時間を今後も楽しんでいきたいです。

さて、次はどの本を持って行こうかな。



▲読み聞かせをする〇〇さん

常南の心

わたしのまち

二年二組担任 栗田喜美子



岡崎に住み始めて一年半が経ちました。初めはどこに行くにもインターネッットで詳しく道筋などを調べなければなりませんでしたが、今では、少しずつ、地図に頼らなくても行動できる場所が増えてきました。

一宮で生まれ育った私は、岡崎を訪れたことがあまりなかったですが、唯一、年に一度の節分の日に一畑山薬師寺に参拝していました。美合駅からバスに乗って向かうときは時間がかかりました。そのため、岡崎は車が多く、渋滞しやすい街であるイメージしかもっていませんでした。そのイメージは今でも変わっていません。しかし、近くの山や川に行けば、夏には蛍、梅雨のころには紫陽花、秋には紅葉などの美しい自然を見ることが出来ます。また、ぶどうやみかんなどの秋の実りを味わうことができます。私は、岡崎で新しい発見をしながら、豊かな生活を送っています。

今、二年生は、生活科の授業で「町はっけん」を行っています。自分のまちを知り、自分のまちが好きになり、自分のまちに誇りをもって生活して欲しいと思っています。

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火
大晦日			仕事納め				冬休み	終業式	ALT 通学班会 一斉下校	委員会			ST		ALT	ALT	クラブ 誕生集会			読み聞かせ ST ALT	保護者会	保護者会	保護者会 ALT	いじめを考える人権集会			読み聞かせ ST	マラソン大会予備日	マラソン大会 ALT	交通安全市民運動

